

V

若者の声に応えるまちづくりを！
外国人住民へ生活ルールが伝わる工夫を!!

西東京市議会公明党 八矢 好美 (はちや よしみ)

若者の居場所

問 昨年度16歳～29歳4,000人への調査結果から「会話ができて、自習ができて、無料wifi設置の場」を若者、特に10代が望んでいる。

答 若者への情報発信に努める。

意見 民間と協働して居場所を開放している自治体がある。市として丁寧に伝えていただきたい。

外国人との共生社会

問 外国人住民は、10年前よりほぼ2倍増加。人手不足な職業の働き手として活躍している。このたびの参院選をきっかけに、敵視するような風潮が報道されている。これは住民の不安の表れだ。今こそ市の役割として地域交流と併せ秩序を保った生活を外国人が送れるよう支援が必要。

答 多文化共生の推進のため、暮らしのルールをお互い守ることが重要。

意見

庁内の情報を一元化し、どうしたら外国人が生活のルールを守っていただけるのかを考えていただきたい。

補聴器補助

問 東京都事業は、前年度に啓発事業を実施した自治体は翌年度補聴器の補助が受けられる。今後の取組は。

答 令和8年度以降、調査や介護予防事業等を促し、効果検証を伴う助成事業の実施を検討している。



一般質問から

議長を除く27人の議員が、
市政全般について
市長や教育長などに、
様々な角度から質問しました。



質問者がまとめた内容を、質問順に掲載します。
全文は後日、会議録に掲載されます。
公開予定日は10面をご覧ください。

動画視聴は
ここから！



本会議中継QRコード
次の定例会の中継が公開されると、
視聴は終了します

V

若者の応援や環境問題など、
将来を見据えた政策の実行を！

西東京市議会公明党 大林 光昭 (おおばやし みつあき)

問 若者政策は、若者の参画により政策パッケージとして示すべき。平和大使派遣事業も継続すべき。

答 企画立案、運営まで若者が行うという考えで政策を進めていく。

問 地球温暖化で熱中症などの健康被害や教育環境、農作物、エアコン使用による経済的負担などの影響が生じている。温暖化への総合的な対策を進めるべき。

答 地球温暖化対策に取り組む。

意見 近隣市では回収したペットボトルを民間施設でリサイクルし、売払収入を得ている。本市でも取り組むべき。

問 教室以外の別室であれば登校できる児童・生徒のための支援員配置の今後の方向性を問う。

答 欠席の多かった児童・生徒の登校日が増えたなどの報告がある。

次年度以降、実態やニーズに応じた支援を検討する。

意見

校内教育支援センターの設置を進めるべき。

問 田無庁舎2階市民課窓口は連日混雑しており、早期の対応が必要。改善すべき。

答 マイナンバーカード専用窓口設置など、窓口業務の改善による混雑解消とサービス向上を目指す。



V

障がいがある方が、安全・安心に自分らしく
暮らせるまちづくりの推進を

西東京市議会公明党 田代 伸之 (たしろ のぶゆき)

聴覚障がい者施策

問 西東京市議会第3回定例会が全議員の総意をもって「手話普及促進議会」として開催できたことは、大きな意義がある。令和7年6月25日「手話施策推進法」が施行。9月23日が「手話の日」と定められた。手話言語の重要性を広める機会創出のため、スカイタワー西東京ブルーライトアップ事業の推進を。

答 手話普及に資する取組を検討。

問 手話言語条例を制定し、市独自の取組を進めることに併せ、言語としての手話の重要性の普及啓発を。

答 手話言語条例の制定も一つの有力な方策。どのような対応ができるかを検討する。

問 手話施策推進法の理念を地域で具体化する上で大きな役割を果たす「全国手話言語市区長会」への加盟を検討すべき。

答 手話施策推進法の施行などを機に、加入について検討する。

その他の質問

◇防災対策DWAT*との連携強化
◇若者参画・若者支援
◇予防医療の推進
◇田無第三中学校の建て替え、周辺エリア構想、学校施設個別施設計画の見直し



▲手話普及啓発の取組でブルーにライトアップされたスカイタワー西東京

V

補正予算の事業費加算が市財政を硬直化
障がい者、がん患者、ひとり親対策強化を！

無所属 納田 さおり (のうだ さおり)

経常収支比率悪化、補正予算の加重

問 エビデンスの伴わない場当たりの補正予算計上は市の財政硬直化をもたらす。経常収支比率95.5%は深刻な事態で、原因の一つである。

答 補正予算は予算編成後の新規追加の財政需要に対応するため編成。

障がい者の災害対策

問 災害時の障がい者対応では個別ニーズに沿った支援が重要。フレンドリーと保谷障害者福祉センターをダイレクト避難できる場所として地域防災計画上に位置付けよ。

答 市内事業者と福祉避難所協定を結んだ。障がい者団体の意見を聞きながら安心して避難できる体制を整える。

がん情報の充実、アピアランスケア*

問 HPにおけるがん情報が不十分だ。文京区を参考にがん情報の提供

体制の強化を求める。アピアランスケアのメニューに長期間保持できる医療アートメイクの追加を求める。

答 医療アートメイクは施術にあたりメニューに入らない。

ひとり親のエンパワメント支援*

問 利用率の低いひとり親ホームヘルプサービスの在り方を見直しアウトリーチ型支援を強化すべきだ。

答 他自治体事例を調査研究する。



▲保谷障害者福祉センター

V

教育長は教員・保護者の理解の下「いじめ根絶」を宣言し、適切な初動対応を目指せ！

西東京市議会公明党 藤田 美智子 (ふじた みちこ)

問 文科省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題調査」で、いじめの認知件数・重大事態件数が過去最高となり、小学校での発生件数が著しく増加している。東京都統計(R3)では、10～14歳死因の1位は自殺である。いじめ早期発見時の教員の判断基準にばらつきがあると、気づかぬうちに深刻化し不登校等も起こりうる。未然防止の第一歩は、教育長自らが「いじめ根絶宣言」をし、ありとあらゆる対策を講じるべきと考える。現状と見解を問う。

答 「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うか」の問いに対し、本市のいじめに対する認識は、全国平均よりやや下回っている。いじめの未然防止及び早期発見・早期対応にかかわる保護者との共通理解の下、各学校におけるいじめを生ま

ない、許さないための取組の徹底を指導する。理解促進のためのいじめ根絶の宣言は、児童会、生徒会と連携を図り、調査検討していく。

意見 市教委に報告があってからでは遅い。真摯に取り組んで欲しい。

その他の質問

◇地域の小児初期救急医療の確保
◇戦後80周年平和大使事業
◇高齢者の地域医療体制



*DWAT（ディーワット） 大規模災害時に避難所などで被災者、特に高齢者、障害者、乳幼児などの要配慮者に対して、専門的な福祉支援を提供する民間の福祉専門職等で構成されるチーム
*アピアランスケア がんやがん治療によって起こる脱毛、皮膚・爪の変色、手術痕などの外見の変化に起因する身体的・心理的・社会的な苦痛を軽減するためのケア
*エンパワメント支援 社会的に不利な状況におかれた人々の自己実現を目指し、ハンディキャップやマイナスの側面ではなく、長所や強さに着目し、援助すること